

薄暮・夜間時に潜む危険を回避しよう

薄暮時の交通事故の特徴

右図を見ると、全人身事故の時間別の発生件数は総じて17時台に集中していますが、死亡事故については、各月の日没時刻の変動と事故発生のピーク時刻が似通ったかたちで変動しています。

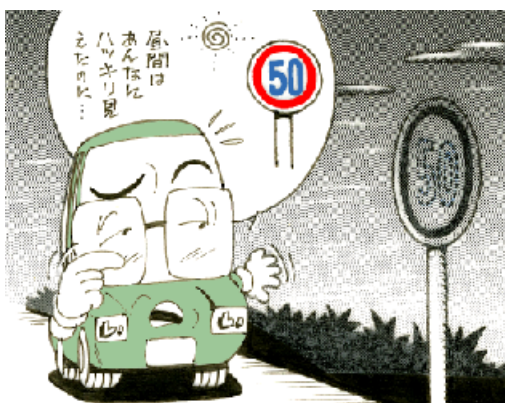
また、9~12月の18時台に発生した死亡事故(事故類型別)に関するデータを分析した結果、人对車両の事故が多発していることがわかります。

これは、薄暮時の事故は重大事故につながりやすいことを物語っています。

時台	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全人身事故(件)	16	23,794	22,010	21,360	22,382	21,838	21,943
	17	27,822	25,173	23,683	30,626	32,846	32,834
	18	20,676	19,337	23,679	28,257	25,558	25,332
	19	15,464	16,545	17,019	17,101	15,909	15,878
	20	12,331	11,319	10,500	10,847	10,667	10,608
	21	9,876	9,515	8,463	8,964	8,767	8,944
死亡事故(件)	16	120	100	102	109	146	153
	17	103	107	104	259	342	346
	18	91	128	182	229	217	184
	19	140	166	145	139	149	128
	20	142	111	97	98	119	110
	21	120	127	86	127	98	115

<資料1>平成13年~16年における、事故発生月、時間別(16~21時)の事故発生件数(イタルダイナフオメーションNo.62より)

薄暮・夜間時の走行、ここに注意



夕暮れ時となって他者や道路標識が見えづらくなっても、暗くなるまでライトを点灯せずに走行する車両をよく見かけますが、「まだ見える」と考えている時というのは、同時に「暗くなってきたので見えづらい」と感じているとも言えます。

ですから、暗くなる前からライトを意識的に使用して、視認性を高めるように努めましょう。

また、ライトを点灯しても照射範囲外などは見えづらいものですが、「見えづらい場所=危険も見えない=危険はない」という思い込みの心理に陥らないように注意しましょう。ライト点灯後も油断せず、安全確認の徹底を心がけましょう。

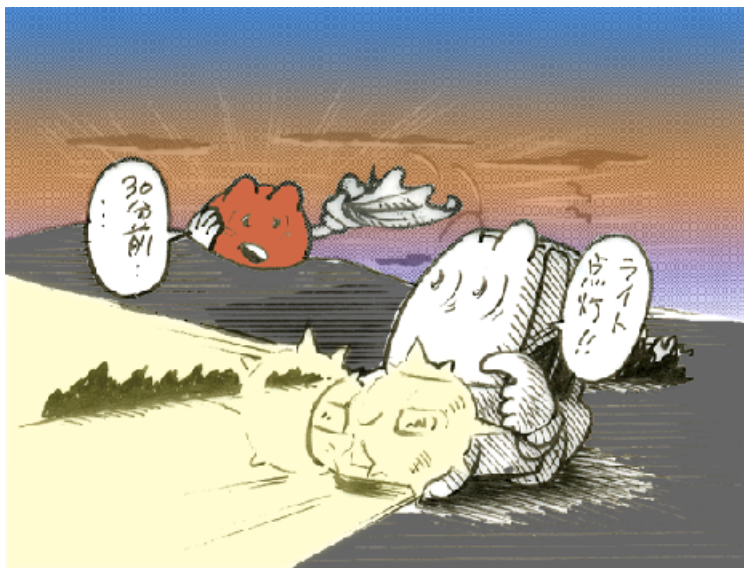


ライトを賢く活用して事故防止につなげよう

早めのライト点灯を徹底する

「見えにくくなったらライトをつけよう」というのではなく、点灯するタイミングを時間で決めておきましょう。たとえば、「日没時間の30分前に点灯する」としておけば、暗くなり始める頃には必ずライトがついているので安心です。

また、こうすることで自車を目立たせることにもなり、防衛運転にもつながります。



上向きライトにこまめに切り替える

薄暮・夜間時を走行するときは、上向きライトを上手に活用しましょう。上向きにすることで、暗闇に潜んでいる危険を早く発見でき、道路形状の把握も容易になります。ただし、明るい場所や対向車が接近している場合は、下向きライトに切り替えましょう。



東京海上日動リスクコンサルティング(株)の自動車事故削減プログラム

東京海上日動リスクコンサルティングでは、カメラ付きドライブレコーダを使用した自動車事故削減プログラムをはじめ各種事故削減メニューを取り揃え、ご提供しております。詳しくは、03-5288-6586 (担当:西村・満田)までお問い合わせください。
HP (<http://www.tokiorisk.co.jp/>)

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課